

**钣金・塗装ならおまかせ下さい！
各種修理のご提案いたします。**



アライメント設置

東田自動車工作所 近畿運輸局長
認証 第6683号
西脇市蒲江268-2 TEL.0795-22-5922

でんくうては楽しい体験教室を開催しています！
ぜひご参加下さい♪

11月25日(土) 合鴨の燻製づくり体験 参加費 3,000円
12月9日(土) しめなわづくり 参加費 500円
12月17日(日) しめなわづくり 参加費 500円
12月23日(土) ホールチキンの燻製づくり体験 参加費 3,500円

※ 燻製づくり体験は要予約になります。また10日前に締め切ります。
※ 詳細はHP・チラシをご覧ください。下記へお問合せ下さい。

特定非営利活動法人 **北はりま 田園空間博物館**
〒677-0022 兵庫県西脇市寺内517-1
TEL 0795-25-2370 FAX 0795-22-2123
ホームページ http://www.k-denku.com
Eメール kdenku@denku.com
※ 観覧時間 9時～18時(11月～2月) 9時～18時(3月～10月)
※ 年間定額1,000円
NPO法人北はりま田園空間博物館は西脇市・多可町の交流と道の駅北はりまエコミュジアムの収益を活動資金にしています

和味深心
弥介 YASUKE

昼 1,000円～*11時～14時
夜 1,000円～*17時～22時
*料理おさめは21時30分とさせていただきます *予約優先・不定休

お鍋、ほちほち始めています

● 鶏鍋 2,000円 ● 豚鍋 2,000円
● 弥介鍋 2,500円 ● すき焼き 3,800円
● しゃぶしゃぶ 3,800円
● てっちり(要予約) 7,800円～

☎0795-22-4817
西脇市和布町188-4
(来住邸より南へ800m)

真心こめてお手伝いさせていただきます

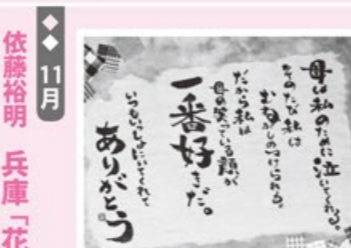
生花・アレンジ花

クレパス葬祭 CRAYPAS
西脇市上野84・☎0795-23-4631・(株)クレパス



自由人の写真展
10月1日(日)～15日(日)

東京生まれ&在住の写真家、山崎秀司さんが十数年をかけてイラン全土で撮影されたベルシャ絨毯や遊牧民などの写真を展示。さらに「漆黒の記憶」と題したシリーズ作品も登場します。(め)



グループ展 第16回「清流の書展」
ちよっと照れくさい孝行のメッセージ

10月8日(日)～9日(月)祝
10月11日(火)～18日(火)

20代から80代まで、約25人のメンバーが「おもてなしの心」でいける多彩な花の芸術が来住邸内を華やかに彩ります。(は)



光風流 西脇支部 いけばな展
10月8日(日)～9日(月)祝

12月 県立西脇北高等学校 災害支援活動写真展
12月2日(土)～27日(水)

災害現場でのボランティア活動に取り組まれている西脇北高の生徒さんたち。今回で7度目の訪問となる東日本大震災の被災地と、九州北部豪雨災害の被災地での第1・2回の活動風景が写真で紹介されます。被災地の現状と被災された方の想いを伝える活動です。(芋焼酎)



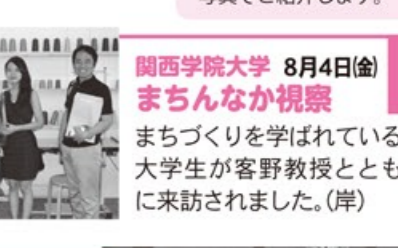
上田安子服飾専門学校 CONCENTで実習
8月2日(水)～3日(木)

ファッションを学ぶ専門学校生が2日間、施設を使って創作活動をされました。すてきな服が出来上がりました。(岸)



播州織工房館 第9回 七夕ゆかた祭り
7月1日(土)

多くのご協力、ボランティアの皆様のおかげで内容盛りだくさんの楽しいお祭りになりました。ありがとうございました!(は)



関西学院大学 8月4日(金) まちななか視察
まちづくりを学ばれている大学生が客野教授とともに来訪されました。(岸)



地域医療夏季セミナー 医学生が見学 8月17日(木)
神戸大学と兵庫県地域医療支援センターが主催するセミナーの受講生が来住邸を見学に来られました。(岸)

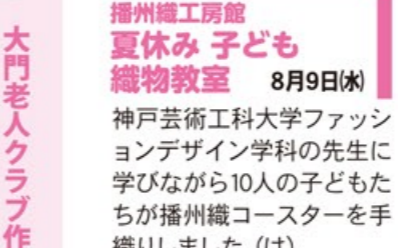


募集
● あなたも来住邸ギャラリーに作品を展示しませんか?
● 西脇の歴史・文化・旅をテーマにした「たつた井の歴史」コーナーへのご寄稿も歓迎です!
お問合せは西脇TMO推進室まで。

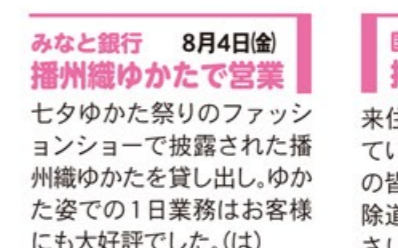


大門老人クラブ作品展
11月16日(木)～30日(木)

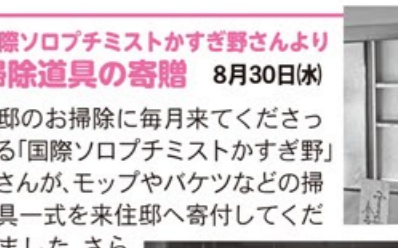
老いてなお元氣いっぱいな黒田庄町大門地区の皆さん。絵画や写真から自慢の農作物まで様々な作品が展示されます。(り)



播州織工房館 夏休み 子ども織物教室 8月9日(木)
神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科の先生に学びながら10人の子もたちが播州織コースターを手織りました。(は)



みなと銀行 8月4日(金) 播州織ゆかたで営業
七夕ゆかた祭りのファッションショーで披露された播州織ゆかたを貸し出し、ゆかた姿での1日業務はお客様にも大好評でした。(は)



国際ソロプチミストかすぎ野さんより 掃除道具の寄贈 8月30日(木)
来住邸のお掃除に毎月来てくださっている「国際ソロプチミストかすぎ野」の皆さんが、モップやバケツなどの掃除道具一式を来住邸へ寄付してくださいました。さらに、メンバーのご主人がご厚意で掃除道具の棚もきれいに作り直してくださいました。心より感謝申し上げます。(か)

第十五話 **たった井の話**
宮ノ本 春日神社 宮司 津田 忠昭 (聞き手 西脇TMO広報部)

秋まつりの「あばれ太鼓」が近年、テレビやインターネット動画などで取り上げられることが増え、市外からもたくさんの方がお参りされるようになりました。絢爛豪華な化粧屋台「ふとん太鼓」に比べて、あばれ太鼓は丸太をロープで縛って組んだだけのいたって簡素な構造です。しかし、ひとたび動き出せば、その力強い躍動感に引き込まれ、人間の底力、息の合った太鼓の響きに魅了されてしまいます。

あばれ太鼓の由来は詳らかではありませんが、地元の古老からは明治の頃に大阪の夏祭りの太鼓から手がかりを得たのではないかと伺っています。氏子3町(高田井、和田、谷)のうち、最初は和田が、後になって高田井が採用したともいわれており(谷は担ぎ手不足のため現在、子供神輿のみ)、二町の保存会によって受け継がれています。

本宮当日、前日の宵宮から各町内へ練り出していた2台の屋台が昼1時頃に合流して宮入りしますが、その前後に練り広げられる「練り合わせ」が豪快です。2台が競うように右へ左へ、練り返し真横になるまで横転するのです。乗り子は振り落とされまいと必死にバランスを取りながら、それでも太鼓を叩き続けます。「乗り子さんは命綱でもあるんでか」と尋ねられますが、そのようなものはありません。保存会のメンバーによると、「乗り子の基本は四股をちゃんと踏み、動作にメリハリを付け、四人の呼吸を合わせる」ことだそうです。厳しい練習を重ねなければできないことです。それだけに本番の感動は大きく、乗り子の経験

は必ず人生の糧となって困難を乗り越える力になるのだそうです。もちろん、乗り子が落ちてしまわないように担ぎ手も体を張って支えます。その担ぎ手は2日間一切お車を使わずに人の肩だけで重い太鼓を最終担ぐ猛者ぞろい。顔を真っ赤にしなが汗をかき、腹から声を出しながら連携します。練り合わせでは、そんな乗り子と担ぎ手の熱気と連帯感、観客の拍手喝采が一体となって大きな感動が生まれます。

あばれ太鼓を見守る御祭神は、武甕槌命と経津主命、天兒屋根命、比売神の四柱です。武甕槌命と経津主命は美しい武神・剣神として知られていますが、武甕槌命の本質は田畑に雨水をもたらす、災厄をもたげ払う雷神です。さらに、「古事記」で国譲りの使者となることから交渉上手、茨城の鹿島神宮から奈良へ鹿に乗ってこられたことから旅・交通・航海安全の御神徳でも有名です。また、天兒屋根命と比売神は夫婦神で、縁結びや家庭円満を祈願される参拝者が多く、神前結婚式を挙げられたカップルもいらっしやいます。お祭にいらしたら、たとえお願ひ事がない時も、まず本殿へ礼拝を。皆様の楽しい一日の平穩無事をお祈りいたします。

● 次回1月号は「へそある記」、4月号は「たつた井の話」の予定です。

今年は宵宮10月7日、本宮8日